

第11特科隊新年安全祈願行事



(発行所)
11特OB会

(連絡先)
札幌市南区
真駒内17番地

第11特科隊
広報援護室
TEL (011)-581-3191
内線2645
(印刷)
メディアコーポレーション

奉酒

隊は、令和七年一月九日(木)新年安全祈願行事を取り行った。本祈願行事は、災害事故防止と安全祈願、部隊の団結の強化及び士気の高揚を図る目的で行われた。

当初、隊長及び各中隊長による奉酒を行い、隊長から各中隊長へ御神酒の贈呈、隊長による年頭の辞により一年の安全を祈願した。

安全祈願後には、全隊員での記念撮影を行い、新年を迎え気持ちを新たに特科隊の団結を強化した。



隊本部 (福重 2尉)



隊長 (津田 1佐)



第1中隊 (串間 3尉)



本部管理中隊 (岡部 2曹)



第3中隊 (尾崎 3佐)



第2中隊 (鈴木 曹長)

主な記事

二面	第七十五回さっぽろ雪まつり等
三面	令和六年度やまぶき会総会・懇親会等
四面	昇任者・転出者・転入者・定年退官者の紹介

第七十五回さっぽろ雪まつり協力

隊は、令和七年一月七日(火)から二月十二日(水)までの間、大通四丁目S TV広場において、第七十五回さっぽろ雪まつりの大雪像「転生したらスライムだった件」制作に協力した。

令和七年一月七日(火)、雪輸送開始式及び安全祈願式を皮切りに大型トラック約六〇〇台分の雪輸送・雪積みを行った。一月十六日(木)から、重機やチェーンソーによる粗削り、ノミ等による細部彫刻を行い、一件の事故もなく大雪像を完成させ、二月三日(月)、札幌テレビ放送株式会社に引き渡した。

雪像制作間には、報道機関、一般見学者、隊員家族等に対し雪まつり協力を通して、自衛隊の活動状況を広報するとともに、自衛隊に対する理解と信頼感の醸成を図った。

雪まつり開催期間中は、大勢の来場者が訪れ、夢と感動をお届けする事が出来た。大雪像は、十二日(水)に解体され、第一雪像制作隊は、翌十三日(木)の編成解組式を以て、全ての任務を完遂した。



▲制作中の隊員達



▲完成した大雪像

令和六年度山地行動訓練 (冬季)

隊は、令和七年一月七日(火)から十四日(火)までの間、赤井川村キロロススキー場周辺山岳地域において、令和六年度山地行動訓練(冬季)を行った。

本訓練は、スキー指導官及び山地遭難者救助活動要員に対し、冬季における山地での行動に必要な知識・技能の向上を図る目的で重装備を携行した状態での機動訓練、搬送要領などの訓練を実施した。



▲重装備を携行した機動訓練



▲搬送訓練

令和六年度第十一飛行隊との協同訓練



▲飛び降り訓練



▲ホイスト訓練

隊は、令和七年二月二十八日(金)丘珠駐屯地において、令和六年度第十一飛行隊との協同訓練を実施した。本訓練は、飛行隊と協同してヘリからの飛び降り及びホイスト要領を演練し、次年度の協同訓練に資する目的で行われた。当初、格納庫内において、安全教育を実施した後、屋外において、飛び降り及びホイスト訓練を実施した。

令和六年度やまぶき会総会・懇親会

令和七年一月二十五日(土)札幌市内ホテルにおいて、令和六年度やまぶき会総会・懇親会が行われた。当初、大通り四丁目会場STV広場において、制作中の雪像を見学した後、ホテルライフオート札幌において、令和六年度やまぶき会総会を行い、六年度の決済報告、来年度の各種行事等の説明後、懇親会が行われ、来年度の抱負を一人づつ述べる等、終始和やかに進み、盛会のうちに懇親会を終えた。



▲懇親会の様子



▲記念撮影

北後志地区自衛隊 入隊予定者激励会

隊は、令和七年二月十六日(日)小樽市において、北後志地区自衛隊入隊予定者激励会に参加した。激励会では、入隊予定者九名に対し、入隊前の不安の払拭及びご家族に対する自衛隊への理解の深化並びに自衛隊家族会との連携の強化を図った。



▲小樽自衛隊協力会、大川会長による祝辞



▲ラッパ吹奏で入隊予定者を激励



▲記念撮影

～ 令和6年度自衛官幹部任官者の紹介 ～

この度、第三中隊に配属されました土屋三尉です。一般大学を卒業後、前川原での十カ月を経て第十一特科隊にやってきました。知識も経験もなく未熟であり、優秀な諸先輩幹部・陸曹の将来に不安を覚える毎日ですが、一生懸命勤務に励む所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



第3中隊 土屋3尉
出身 長野県
趣味 音楽、麻雀
(ピアノ・トロンボーンetc)

この度、第二中隊に配属されました富田三尉です。出身は北海道、趣味はドライブと映画鑑賞です。家で見る映画も好きですが、IMAXで見ると映画はもっと好きです。右も左も分からない若輩者ですが、職務に邁進していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



第2中隊 富田3尉
出身 北海道
趣味 映画鑑賞、ドライブ
(恋愛もの以外)

第11旅団・第11特科隊 公式SNS



第11旅団 ホームページ 特科隊 ホームページ

一月昇任者

三等陸佐へ
隊本部 愛甲 博之

二等陸尉へ
隊本部 皆川 学

陸曹長へ
本部管理中隊 大根田 祥巳

第二中隊 鈴木 真吾

一等陸曹へ
本部管理中隊 金澤 友明
同 熊本 肇

二等陸曹へ
本部管理中隊 宮島 清治
同 藤原 佳史

第二中隊 松村 誠
第三中隊 浅見 隆介

三等陸曹へ
本部管理中隊 五十嵐 幸斗
第三中隊 長谷 亮汰

二月転出者

第一中隊 藤本 航

二等陸曹 第二特科団(湯布院)へ

第三中隊 陸曹長 続池 悟

第二特科団(湯布院)へ

三等陸曹 第二特科団(湯布院)へ
花原 紳悟

三月転出者

隊本部 三陸方面総監部(朝霞)へ

三陸方面総監部(朝霞)へ
木村 孝行

三陸方面特科連隊(宇都宮)へ
竹澤 真哉

一等陸尉 岡元 秀敏
西部方面特科連隊(えびの)へ

第一空挺団特科大隊(習志野)へ
一等陸尉 松村 憲吾

本部管理中隊 黒川 修史

富士学校付(富士)へ

陸曹長 藪本 正雄
北部方面総監部付隊(札幌)へ

三等陸曹 花ヶ前 克弥
西部方面特科連隊(久留米)へ

三等陸曹 力田 美幸
第八師団司令部付隊(北熊本)へ

第一中隊 石嶋 健史

第二〇教育大隊(真駒内)へ
二等陸曹

第二中隊 松村 誠

第二特科団(湯布院)へ

三等陸曹 長谷川 正人
第二特科団(湯布院)へ

第一一九教育大隊(多賀城)へ
三等陸曹 本宮 武

第三中隊 尾崎 安奈

三陸大学校付(小原台)へ
三等陸佐 防衛大学校付

西部方面特科連隊(北熊本)へ
森崎 政喜

第一陸曹教育隊(東千歳)へ
二等陸曹 斎藤 将太

三月転入者

隊本部 近藤 祐介

二等陸佐 陸上幕僚監部(市ヶ谷)より

三陸教育隊(習志野)より
久保山 延俊

西部方面特科連隊(北熊本)より
一等陸尉 宮川 直樹

本部管理中隊 高橋 哲矢
陸曹長 東千歳駐屯地業務隊

第十即応機動連隊(滝川)より
一等陸曹 堀江 与史

北部方面総監部付隊(札幌)より
一等陸曹 田中 潤

幌別駐屯地業務隊(幌別)より
一等陸曹 小笠原 豪城

第七特科連隊(東千歳)より
二等陸曹 山下 政幸

第一中隊 山本 昇平

第六即応機動連隊(美幌)より
二等陸曹 田中 誠

真駒内駐屯地業務隊(真駒内)より

幌別駐屯地業務隊(幌別)より
二等陸曹 大浦 裕児

三陸方面特科連隊(郡山)より
三等陸曹 三瓶 麻美

第三中隊 館山 明紀
教育訓練研究本部付(目黒)より

三陸方面特科連隊(郡山)より
三等陸曹 三瓶 恵一郎

東北方面特科連隊(郡山)より

定年退官者



菊池准尉 (7.2.7付)



小山田准尉 (7.2.8付)



吉田3佐 (7.3.17付)



綿引准尉 (7.3.19付)

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で、今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。

手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行います。

電話〇一一一五八一―三一九一(内線二六四七)担当 船木

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事となりますが、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなり、万が一ご本人がご逝去された場合は、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡下さい。また、ご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

三 その他

第十一特科隊隊舎一階において第十一特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一(内線二六四七)担当 天満